



ベトナム社会主義共和国 (Socialist Republic of Viet Nam)

一般事情

1. 面積 32万9,241平方キロメートル(日本の約90%)
2. 人口 約8,579万人(2009年4月1日時点国勢調査) 人口増加率:1.2%(過去10年平均)
3. 首都 ハノイ
4. 民族 キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
5. 言語 ベトナム語
6. 宗教 仏教(80%)、カトリック、カオダイ教他
7. 通貨 ドン(Dong=VND)1円≒249ドン(2011年6月1日現在)
流通している紙幣は100、200、500、1000、2000、5000、1万(2種類あり)、2万(2種類あり)、5万、10万、20万、50万ドンの14種類。硬貨は200、500、1000、2000、5000ドンの5種類。
旧5万ドン札、旧10万ドン札は流通が停止されているので、要注意。
また、USドルも一般に流通している。
8. 気候 ベトナムは全体としては高温多雨で、熱帯モンスーン気候に属している。
しかし、南北に細長い国土のため、同じ時期でも地域によって気候は大きく異なる。
特に冬(11~3月)は、北部では朝晩はジャケットを必要とするほど冷えるが、南部では日中30°Cを超える日が続く。
9. 時差 -2時間(サマータイムはない)。

政治体制・内政

1. 体制 社会主義共和国
2. 元首 チュオン・タン・サン国家主席
3. 議会 一院制(500名)、任期5年(但し2007年~2011年の第12期国会は4年)
中選挙区、選挙権満18歳以上、被選挙権満21歳以上
4. 内閣 首相 グエン・タン・ズン 外相 ファム・ビン・ミン
5. 内政 (1)ドイモイ(刷新)路線を継続、外資導入に向けた構造改革や国際競争力強化に取り組んでいる。
ドイモイ進展の裏で、貧富の差の拡大、汚職の蔓延、官僚主義の弊害などのマイナス面も顕在化している
(2)2011年1月には第11回共産党大会(5年ごと)が開催され、2020年までに近代工業国家に成長
することを目標として引き続き高い成長を目指す方針が掲げられたほか、プロレタリアート階級主導の
共産党方針は維持しつつも、私営経済活動を本業とする者の入党を試験的に認めることとされた。

外交・国防

1. 外交基本方針 全方位外交の展開、特にアセアン、アジア・太平洋諸国等近隣諸国との友好関係の拡大に努めること。
1995年7月、米国と国交正常化、アセアンに加盟。1998年11月、APECに正式参加し、2006年にAPEC議長
国を務めた。2008年1月、国連安全保障理事会非常任理事国(任期2008年~2009年)に就任。
2010年ASEAN議長国を務めた。
2. 軍事力 (1)予算 24.1億ドル(2010年)
(2)兵役 徴兵制
(3)兵力 正規軍48.2万人(陸軍 約41.2万人、海軍 約4万人、防空・空軍 約3万人)(2010年)
(2010年版ミリタリー・バランスより)

経済

1. 主要産業 農林水産業、鉱業、軽工業

2. 経済

	2008年	2009年	2010年	
GDP(億ドル)			1,015	(越統計総局)
一人当りGDP(ドル)			1,169	(越統計総局)
経済成長率(%)		5.32	6.78	(越統計総局)
物価上昇率(%)対前年末比			11.75	(越統計総局)
失業率(%)			2.88	(越統計総局)
輸出(億ドル)			722	(越統計総局)
輸入(億ドル)			848	(越統計総局)

3. 貿易品目 (1)輸出 縫製品、履物、水産物、原油等
 (2)輸入 機械機器(同部品)、鉄鋼、石油、布等

二 国 間 関 係

1. 政治関係 2010年10月には、「アジアにおける平和と繁栄のため略的パートナーシップを包括的に推進するための日越共同声明」を発出して、ズン首相との間で戦略的パートナーシップを政治・経済・外交などあらゆる分野で包括的に推進していくことで一致した。

2. 対日貿易 (1)主要品目
 日本への輸出:縫製品、電気ケーブル、機械機器・同部品
 日本からの輸入:機械機器・同部品、鉄鋼、電子機器・同部品
 (2)貿易額 (2010年、越統計総局)
 対日輸出 77.3億ドル(対前年比 22.9%増)
 対日輸入 90.2億ドル(対前年比 20.7%増)

3. 在日ベトナム人数
 41,781人(2010年法務省登録外国人統計)
 (外国人登録者数)

4. 在留邦人数
 8,543人(2010年10月1日現在)

カム・オン = ありがとう

メモ

インドシナ半島東側の細長いS字型の国ベトナムは、豊かでバラエティーに富んだ自然を有している。山岳地帯、美しい海岸線を持つビーチ、肥沃なメコンデルタなど、観光ポイントとして開発されている所も数多くある。北部のハロン湾、旧ハノイ(タンロン)城跡、中部のチャンパ遺跡のあるミーソン、古い街並みが残るホイアンは世界遺産に登録されており、旅行者にも人気の場所だ。また最近では、エスニックな雑貨ショッピングとビーチリゾートを楽しむというコンセプトのベトナム旅行が注目を集めている。

